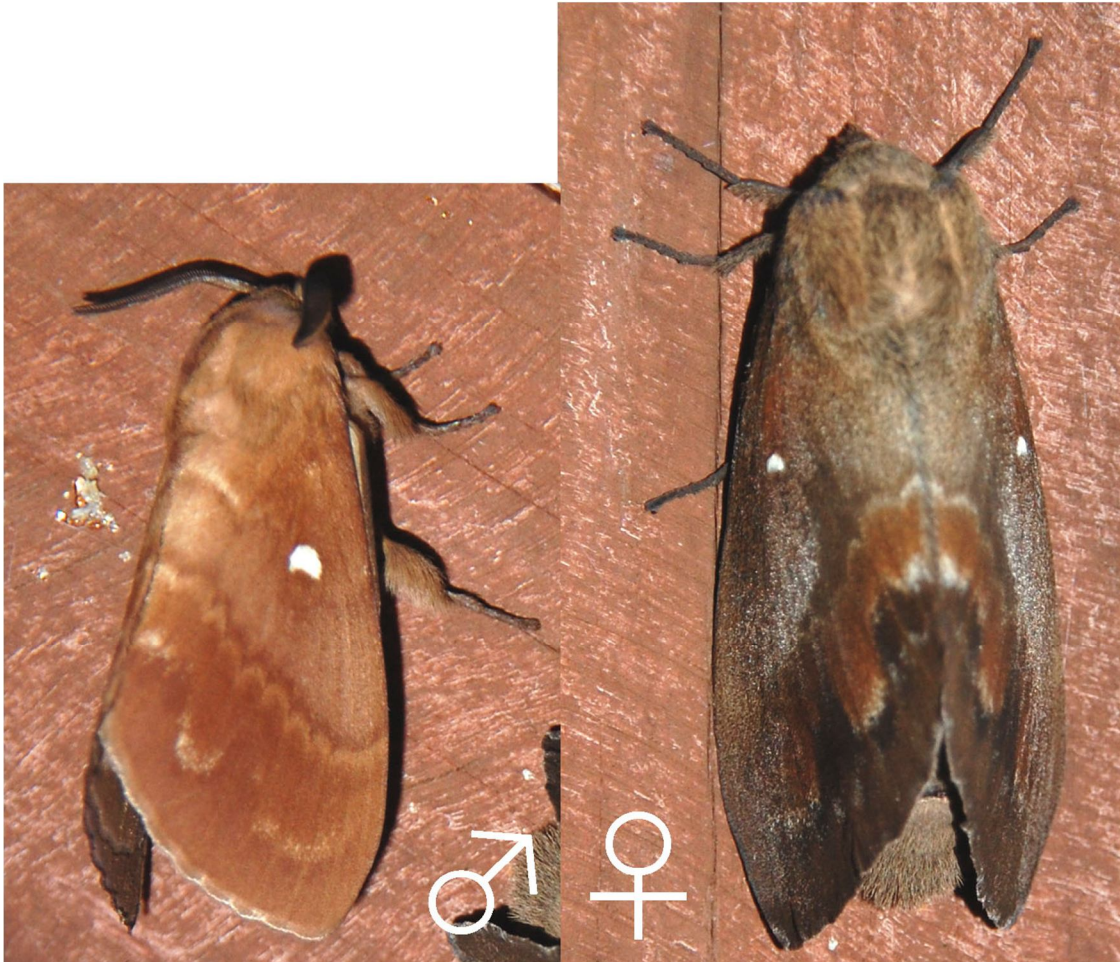


## 「ツガカレハの特徴」

北軽井沢の蛾は小型のものが多いですが、カレハガ科の蛾は比較的大型です。「枯葉蛾」の名の通り前翅が枯葉に似ていて、木の幹に止まっても、非常に効果的な保護色になっています。静止姿勢も三角形なので、遠目にはアブラゼミのようにも見えます。

私の山荘にもカレハガが来ます。ツガカレハ（柾枯葉）という種類です。幼虫がツガやモミなどの針葉樹の葉を食べるので、この名があります。幼虫も見たことがありますが、全身毛だらけで、「いかにも毒虫」という感じです。実際にカレハガ科の幼虫は、一部を除いて毒針毛の束を持っています。これは繭にも残るので非常に厄介です。幼虫や繭にさわったらひどくかぶれるそうですが、まあ、あの姿なら好んで触る人はいないでしょう。幸い成虫には毒はないので、近くを飛んでいてもかぶれたりしません。



「ツガカレハ」*Dendrolimus superans* 蛾の仲間にはメスの方が大きいものが多いですが、ツガカレハもその一種です。写真は同じ縮尺ですが、メスのほうが一回り大きいです。前翅の色もかなりちがうので、オスとメスの見間違いはまずありません。



ツガカレハの同定が難しいのは、非常に似た種に「マツカレハ *Dendrolimus spectabilis*」がいることです。見た目はほぼ同一種です。マツカレハの幼虫はアカマツやクロマツを食べますが、ツガカレハの幼虫もアカマツを食べます。私の山荘の敷地にはアカマツもモミもあるので、ちょっと厄介です。同定の決め手は前翅の模様です。



「ツガカレハ♀の前翅」 “a” の部分の模様が「マツカレハ」よりも大きく突出していることが特徴です。また”b” の白い星も「マツカレハ」よりもやや大きく、三日月型をしています。写真はメスの前翅ですが、オスも同じような特徴です。

7月中旬から下旬にかけては、ツガカレハの交尾行動が見られます。交尾はほぼ一昼夜続き、その間ほとんど1cmも動きません。このあとメスは、モミかアカマツに産卵するでしょうから、毒毛虫には注意したいと思います。



「ツガカレハの交尾」 交尾は約一昼夜続きます。右の小さいのがオスです。





「ツガカレハと紛らわしいもの」

(左上)「けうけげん (妖怪)」・(右上)「ゴン太君 (のっぼさんのパートナー)」

(左下)「カズン・イット (アダムスファミリー)」・(右下)「ツガカレハ」

これらは相当似ているので、私にはほとんど見分けは困難です。ははは。

(お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋)